

約24分 一般向け 文部科学省選定

# あなたのそばに危険が...

## テロから身を守る心がまえ



約26分 企業向け

# 日常に潜むテロの脅威

## 事件に巻き込まれない事業所の対策



### 企画意図

世界各地でテロが相次いでいます。フランス・パリの同時多発テロ、イギリス・マンチェスターのコンサート会場でのテロなど、テロリストは不特定多数の人々が利用する施設を狙い、多くの命を奪っています。特にわが国では、東京五輪・パラリンピックを控え、テロ防止に向けた情報収集・分析や、発生時の対処能力など、対策を強化しなければならない時期にきています。

本企画は「一般向け」と「企業向け」それぞれに、テロに対する「知識」「予防法」「対処法」を解説していきます。海外で発生している“爆弾・銃撃テロ”と“人質誘拐テロ”、そして日本で起きた「地下鉄サリン事件」のような“化学テロ”を柱として、それぞれのテロの実態と特徴、予防するための心がけとポイント、万一遭遇してしまったときに、生き延びるための対処法について紹介します。

誰もがテロの危険に直面する時代、テロから身を守るための道しるべとなることを意図して制作しました。

一般向け

あなたのそばに危険が… テロから身を守る心がまえ

文部科学省選定

国際化が進み、ビジネスや観光で海外に出ることが一般的となった今、テロの危険を避け、身を守るには、どのような心構えが必要なのでしょう。

作品の概要

■世界各地で頻発するテロ

2016年だけで、世界で13,400件以上のテロ攻撃が起き、34,000人以上が命を奪われている。特にソフトターゲット(国際的な観光地や、複数の外国人が集まる場所等)が狙われている。

■爆弾・銃撃テロ

2017年5月 イギリス・マンチェスター 爆破テロ

2016年7月 バングラデシュ・ダッカ 銃撃・人質テロ 等

☞避けるためには?

外務省のホームページ等で情報を入手/危ない場所・時間帯の外出を避ける/大きな荷物を持っていたり、大腿部をまさぐる動きをする人には注意する等

☞遭遇した場合は?

姿勢を低くして頭を守る/丈夫な物の陰に隠れる/『「逃げる」「隠れる」「戦う」』(アメリカ・ヒューストン市作成の映像より)

■誘拐

2008年8月 アフガニスタン 日本人誘拐・殺人事件 等

☞避けるためには?

「自立たない」「用心を怠らない」「行動を予知されない」という三原則を守る/誘拐犯にとって情報となるものは公開しない等

☞遭遇した場合は?

監禁場所などの情報収集に努める/犯人に政治や宗教の話をする事等は避ける/殺害される恐れがある場合は逃走を試みる等

■化学テロ

1995年3月 地下鉄サリン事件 等

☞遭遇した場合は?

口と鼻をハンカチなどで覆い、すぐにその場から立ち去る/汚染された服は速やかに処分する等

■ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

■DVD [カラー 約24分]

■2018年・映学社作品

企業向け

日常に潜むテロの脅威 事件に巻き込まれない事業所の対策

2020年の東京五輪・パラリンピックを控えた今、事業所におけるテロ対策は?その具体策を見ていきます。

作品の概要

■世界で頻発するテロと、日本への脅威

コンサート会場など、不特定多数の人々が利用する施設では、実行犯が紛れやすく、多くの人を殺傷して社会に大きな恐怖を与えることができる。日本は、IS(イスラム過激派組織)からターゲットだと名指しをされているほか、2020年のオリンピックを控えており、国内におけるテロの脅威は高まっている。

■爆弾テロ

2002年10月 インドネシア・バリ島 連続爆破テロ

2017年5月 アフガニスタン・カブール 自爆テロ 等

☞近年の特徴

ソフトターゲットを狙っている/IED(簡易手製爆弾)を使用している

☞日本のテロ対策 ~日本のある百貨店の訓練の様子を見ながら~  
「爆破予告への注意点」「不審物に対する注意点」「避難誘導する場合の注意」「実際に爆発した場合の注意点」をしっかり押さえる。

■銃撃テロ

2016年7月 バングラデシュ・ダッカ 銃撃テロ 等

☞遭遇した場合は?

アメリカ・ヒューストン市が提唱する『「逃げる」「隠れる」「戦う」』のように、冷静で的確な対応が重要である。

■化学テロ

1995年3月 地下鉄サリン事件 等

☞備えるには?

事業所の危機管理・テロ管理責任者は、講習等で化学剤・生物剤の知識を習得しておく/危険な(安全な)区画を把握する/避難経路を複数確保しておく

■ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

■DVD [カラー 約26分]

■2018年・映学社作品

監修: 慶應義塾大学 総合政策学部 教授  
キヤノングローバル戦略研究所 主任研究員

政策・メディア博士 神保 謙

指導: 公益財団法人 公共政策調査会 研究センター長 板橋 功

企画・制作統括 高木 裕己  
脚本・演出 川崎 けい子

制作・著作 株式会社映学社



EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル  
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024  
http://www.eigakusya.co.jp/

●お問い合わせ、お買い上げは……